

| | | | | | | | | |
|------|-----|-------|------------|---------|----------|----|-------|----|
| 科目名 | | 義肢装具学 | | | 授業の種類 | 講義 | 講師名 | |
| 授業回数 | 15回 | 時間数 | 30時間 (2単位) | 配当学年・時期 | 理学療法士科2年 | | 必修・選択 | 必修 |

〔授業の目的・ねらい〕

手足の欠損を代償する義肢と、四肢・体幹障害の軽減を図る装具について学ぶ。それぞれの構造・機能を理解し、障害に応じた処方と適合判定が出来るための基礎知識を身につける。義肢装具の種類を把握した上でそれぞれに対応する疾患を結び付けられるようにする。理学療法と装具療法との関連性を持たせ、臨床に即した知識の習得を目指す。

〔授業全体の内容の概要〕

「義肢装具学・実習」として、前半は義肢学を中心に義肢の種類別に学ぶ。後半は部位別・疾患別に対応する装具の知識を深める。講義で学んだ知識を深めるため、実習では臨床に則した内容を行う。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ・基本的な義肢装具の名称と機能を理解する。
- ・国家試験に対する義肢装具の基礎知識を理解する。
- ・実際の製作を見学し理解を深める

| 回数 | 講義内容 |
|----|-----------------------|
| 1 | 義肢概論 |
| 2 | 切断術、切断後のリハビリ、ドレッシング① |
| 3 | 切断術、切断後のリハビリ、ドレッシング② |
| 4 | 下腿義足、種類、アライメント① |
| 5 | 下腿義足、種類、アライメント② |
| 6 | 下腿義足、歩行チェックポイント、異常歩行① |
| 7 | 下腿義足、歩行チェックポイント、異常歩行② |
| 8 | 大腿義足、種類、アライメント① |
| 9 | 大腿義足、種類、アライメント② |
| 10 | 大腿義足、歩行チェックポイント、異常歩行① |
| 11 | 大腿義足、歩行チェックポイント、異常歩行② |
| 12 | その他の義足① |
| 13 | その他の義足② |
| 14 | 義手① |
| 15 | 義手② |
| | 定期筆記試験 |

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

| 書籍名 | 著者名 | 出版社 |
|---------------|-----|-----|
| 義肢装具学 | | |
| 義肢装具のチェックポイント | | |

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

小テスト、最終テストを総合的に判定し、成績とする。